

# 十

じゅうぜん

# 全

私たちは、市民の皆様に信頼され「地域医療最後の砦」となる病院を創造します。

管理栄養士の  
健康食レッスン

「栄養バランスのよい食事」で  
いきいき健康なカラダをつくる



特集

かしこい医療のかかり方「ダブル主治医制」

2021年、附属2病院は150周年を迎えました

本誌の名称「十全」（じゅうぜん）とは  
横浜市立大学附属市民総合医療センターの前身は、1874年（明治7年）に野毛山に開院した「十全病院」です。  
「横浜医科大学病院」と改称されるまでの約50年以上「十全病院」という名称で市民に定着し親しまれてきました。

# 横浜市立大学附属2病院は、 (横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター) 今年150周年を迎えました

横浜の最初の一般病院である仮病院は、その後、横浜病院、十全医院と変遷し、横浜市立大学附属2病院として発展してきました。

2021年は仮病院の開院からちょうど150年目にあたるため、この間の歩みをご紹介します。また、その歴史の中での様々な災害や感染症に対して医療を提供してきた取組も合わせて紹介します。

### 横浜の医療を支え続けて150年 いつの時代も「ウイルスや災害との戦い」を

天然痘の流行により、予防接種業務のすべてが「十全医院」に移管されました。県下の予防接種本局として、予防接種を励行するとともに接種済の者には、証明発行を行って行っていました。


コレラ流行の対策として、「十全医院」に横浜市内の医師を集めて、シモンズ博士が数回に渡って講義を行いました。また予防薬と止瀉薬を持たせ便所の清潔についても説明させたことなどが功を奏し、コレラの流行はおさまっていきま

9月の関東大震災により、「横浜市十全医院」は全焼しましたが、隣接の平沼久三郎氏のご好意により、邸宅を借りて仮診療を実施し、被災者の救護を行いました。

**4月**  
戊辰戦争官軍兵士の負傷者を治療するため、野毛山修文館（現在の市立老松中学校のあたり）に横浜軍陣病院が設立されました。日本初の公立外科病院で、英国公使館副領事・医師のw.ウィリスが治療にあたりました。僅か1年程で江戸に移転（後に東大医学部へ進展）したため、市民から新病院を求める声が高まりました。




**4月20日**  
医師・早矢仕有的（丸善創始者）の首唱による有志の寄金をもとに、元弁天通（今の中区北仲通）に「仮病院」を開設しました。しかし近隣の失火により類焼したため9月に閉院しました。




早矢仕 有的

**2月**  
「横浜共立病院」は神奈川県立とされ、「十全医院」と改称しました。




明治中期の病院

**7月**  
神奈川県権令（今の副知事にあたる）大江卓が大田町6丁目に代替施設「横浜病院」を開設。




大江 卓


**10月**  
「仮病院」消失直後から、大江卓は早矢仕有的とともに再び三井八郎右衛門、小野善三郎、原善三郎、高島嘉右衛門ら市内の篤志家20数名に病院建設費の寄付を募り、その資金で野毛山修文館に新施設を建設。代替施設「横浜病院」をすべてこの新施設に移し、「横浜共立病院」と改称しました。また、アメリカ人医師シモンズを雇いました。



デュアン・シモンズ博士



横浜病院規則(明治5年 壬申 10月)



1872(明治5年) 開院当初(野毛山)



**4月**  
「横浜医科大学病院」となる。

新制大学発足に伴い横浜医科大学が横浜市立大学の医学部となり、病院も「横浜市立大学病院」と併称しました。

**6月**  
現在の南区浦舟町（当時の南吉田町）に応急病院として移転し、業務を開始しました。



2020年1月以降、本邦においても流行し、国全体で取り組んでいる新型コロナウイルスとの攻防は、新たな変異株の登場もあり、今もなお、予断を許さない状況です。現在私たちは、新型コロナウイルス感染症に対し、体外式膜型人工肺（ECMO）の導入を必要とするなどの中等症・重症の患者さんを中心に診療にあたっています。これからも、未知のウイルスや災害に見舞われることもあるでしょう。しかし、そのたびに、教職員一丸となって、「地域医療最後の砦」として、しっかり立って必要な医療を提供してまいります。そして、横浜市立大学創立100周年及び仮病院から160年を目途に、附属2病院の統合と医学部の移転を予定しています。過去の経験、歩んで来た道での知見を活かし、市民の皆様に信頼される高度（専門）医療を提供していきます。

**1月**  
「横浜市立大学医学部附属浦舟病院」は、再整備事業により「横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター」として建て替えられました。

参考：  
 ・横浜市立大学医学部医学科同窓会・俱進会ホームページ  
 横浜医学の源流と横浜市立大学医学部の歴史  
 ・横浜市立図書館デジタルアーカイブ・都市横浜の記憶・横浜の歴史  
 ・日本医史学雑誌第33巻2号 荒井保男著 米医 D・B・シモンズとくに十全医院（横浜）における業績並びに福沢諭吉との関係について  
 ・100年のあゆみ—創立100周年記念—（横浜市立大学病院）

地域  
携  
連  
だ  
よ  
り

かしこい医療の  
かかり方

# 「ダブル 主治医制」

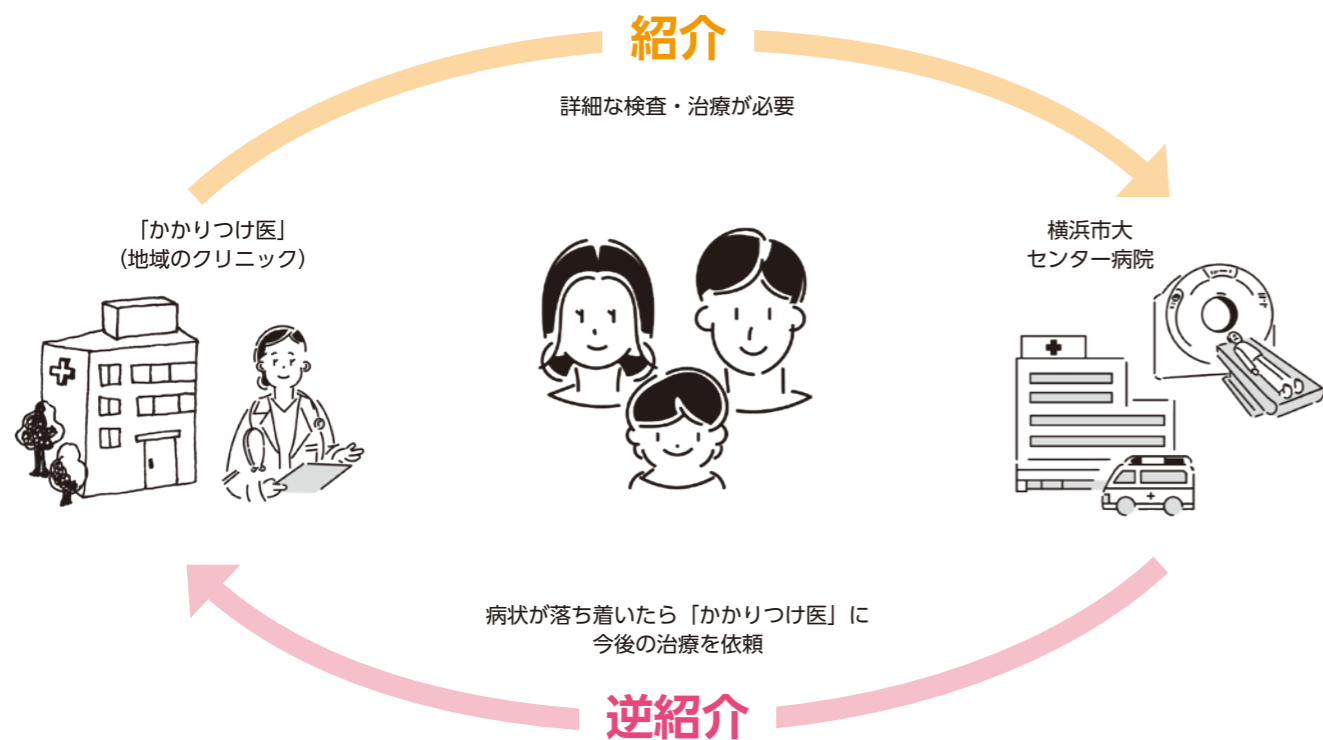


当院は、地域の医療機関では困難な治療や、生命の危機に瀕している重症患者さんに対して救急医療を提供している高度急性期医療機関です。患者さんが、適切なタイミングで適切な医療を受けるためには、国の政策に基づき診療所（クリニック）と高度急性期病院の役割を明確にして、それぞれの機能が最大限に発揮されることがとても大切です。そのために、「かかりつけ医」と「市大センター病院医師」が共に患者さんの主治医として、連携をとりながら治療にあたる「**ダブル主治医制**」を推進しています。

病状が安定した患者さんには、「かかりつけ医」または「近隣のクリニック」にご紹介していますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 「かかりつけ医」を持ちましょう！

「かかりつけ医」とセンター病院は**連携・協力**しています



### かかりつけ医とは？

普段の体調管理や病気の予防などについて、日常的に相談できる「お住まいの近くにある開業医」のことをいいます。入院や手術後の状態の落ち着いた方の経過観察や、基礎疾患の治療を継続的に行います。

### かかりつけ医を持つメリットは？

- これまでの疾患や体質などを全部分かった上で診察してもらえる。
- 通いやすく待ち時間が短い
- 気楽に受診できる
- 細かな相談に乗ってくれる
- 離れて暮らす家族が見逃しがちな認知症の初期症状にも気付いてくれる可能性が高い など

### 市大センター病院には受診できないの？

定期的な診察はかかりつけ医で行いますが、専門的な検査・治療が必要になった際には、かかりつけ医から紹介を受け、市大センター病院を受診できますので、ご安心ください。

なお、当院で行った検査結果は、かかりつけ医と情報共有します。

### かかりつけ医の選び方は？

現在通院されている医療機関（診療所・クリニック）があれば、そこがかかりつけ医になります。特にない場合には、当院1階ロビーにある「かかりつけ医・患者相談窓口」にてご相談ください。看護師が患者さんのご希望を伺いながら、より適切な医療機関をご紹介します。

**かかりつけ医相談窓口** 相談時間：平日9時～17時 相談窓口：本館1階ロビー

### こんな相談事例がありました！

××疾患でセンター病院まで通っているけど、今は症状が落ち着いたから、今度は自宅近くの△△クリニックに通おうと思っているの。でも、初めてかかるから不安があるわ。



患者



かかりつけ  
相談看護師

〇〇さんの自宅のお近くには、センター病院と連携している♡♡クリニックがあって、ちょうど××治療を専門的に診てくれる先生がいらっしゃいますよ。こちらのクリニックであれば、〇〇さんが飲まれているお薬や注射などにも、対応してもらうことが可能ですよ。

そうなんです～！うちの近所にそんな先生がいることなんて、全然知らなかった！しかも、WEBで事前に診察の予約まで取れるみたい。何かあった時でも、センター病院と連携しているクリニックなので、そこなら安心できます。これから「かかりつけ医」となりそうな先生をご紹介いただき、助かりました。



患者



Photo：相談窓口

# 「栄養バランスのよい食事」でいきいき健康なカラダをつくる

管理栄養士の  
健康食レッスン



私たちは食事を通じて、命を保ったり、活動したり、成長するために必要な栄養素を体に取り入れています。健康な体で、毎日の暮らしを支えるためには色々な食べ物を組み合わせることが大切です。

- 毎食、主食・主菜・副菜を揃えましょう。
- 1日1回は、牛乳、乳製品、果物をとりましょう。

主菜  
[冷奴]



副菜  
[ほうれん草のお浸し]



副菜  
[切り干し大根]



主食  
[ごはん 180g]



主菜  
[蒸魚カレーソース]



ある日の入院食  
蒸魚カレーソースの献立

栄養価  
742kcal  
タンパク質 34g  
塩分 2.5g

主食 + 主菜 + 副菜の組み合わせで、1日3食。

## 主食

ご飯、パン、麺類など

主に、体を動かすエネルギー源になる。



## 主菜

肉、魚、卵、大豆製品などを使った、主にタンパク質を多く含む料理

主に、骨や筋肉、皮膚や髪、血液の成分など体をつくるもととなる。その他、消化液に含まれる消化酵素や、病気や感染症から体を守る免疫のもととなる物質をつくる。



## 副菜

野菜、きのこ、海藻などを使った、ビタミン・ミネラル・食物繊維を多く含む料理

主に、体のさまざまな機能の調節や皮膚や粘膜の保護をする役割。



プラスして1日1回とりたい食品

## 牛乳・乳製品

カルシウムを多く含む食品

主に、体の調子を整え、骨格をつくるもととなる。



## 副菜

ビタミンC・カリウム・食物繊維を多く含む食品

主に、皮膚やお腹の調子など体全体のバランスを整える。



カレー風味が魚のうま味を引き立てます。付け合わせの野菜もたっぷりとりれる一品です。

## 蒸魚カレーソース

【材料 1人前】

サワラ	1切 80g	付け合せ(じゃがいもの千切り炒め)	
酒	小さじ1/2	じゃがいも	50g
塩	少々0.3g	無塩バター	3g
		塩	0.3g
カレーソース			
玉ねぎ	30g	付け合せ(にんじんグラッセ)	
カレー粉	少々	にんじん	20g
コンソメ	1g	無塩バター	1g
白ワイン	2cc	水	20cc
水	40cc		
塩	0.3g	付け合せ	
無塩バター	3g	パセリ(みじん切り)	少々
小麦粉	2g		

【作り方】

- ①お皿にサワラを並べ、塩と酒をふり、蒸し器で10分間蒸す。もしくはラップをして電子レンジ600Wで3分間加熱する。余熱で2分おく。
- ②カレーソースを作る  
フライパンを加熱し、バターを溶かし、薄切りにした玉ねぎを透明になるまで弱火で炒める。  
カレー粉、小麦粉を振り入れ、さらに炒める。  
水、コンソメ、白ワインを入れトロミがつくまで煮詰め、塩で調味する。
- ③付け合せを作る(じゃがいもの千切り炒め)  
じゃがいもの皮をむき、千切りにする。(千切りスライサーを利用すると簡単)  
水にさらし、ざるで水を切る  
フライパンを加熱し、バターを溶かし、じゃがいもに火が通るまで中火で炒め、塩で調味する。
- ④付け合せを作る(にんじんグラッセ)  
にんじんの皮をむき、くし形に切る。  
鍋に水、バター、にんじんを入れ沸騰したら火を弱め、柔らかくなるまで煮る。
- ⑤盛り付ける  
皿に①の魚を盛り付け、②のカレーソースをかける。付け合せに③のじゃがいもの千切り炒め、④のにんじんグラッセを盛り付け、みじん切りのパセリをかける。

## TOPICS | 市大センター病院 COVID-19 対応記録動画

当院は、2020年1月から新型コロナウイルス感染症に関する対応を行っています。職員一人ひとりが様々な思いや不安を抱えながらも、「地域医療最後の砦」の病院として、職員一丸となって取り組んできました。この動画は2021年3月までの記録ですが、当院の取組にご理解とご支援をいただけますよう、ご紹介させていただきます。



Youtube 動画紹介ページ▶



### 施設アップデート情報

## 病棟で Wi-Fi がご利用になれます

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、入院時の面会禁止や、外来の付き添い人数を最小限にするなど、様々な制限を設けさせていただいております。そのため、患者様の利便性の向上や療養環境を改善するため、入院病棟や外来待合等に無料で利用できるの無線 LAN を設置します（10月末までに設置完了予定）。使用できるようになりましたら、病棟・外来に掲示しますので、ご確認ください。



YOKOHAMA CITY UNIVERSITY MEDICAL CENTER

Update Information



### 患者さん・ご家族からの紹介予約が一部診療科で可能になりました

◇患者さん・ご家族



② 紹介予約申し込み

③ 診察当日

「診療情報提供書」「保険証」  
「受診のご案内」

◇紹介元医療機関



① 「診療情報提供書」の  
交付（または病院への郵送）  
「受診のご案内」

【患者さん予約専用ダイヤル】

●TEL 045-253-5757

●受付時間 13:00 ~ 16:30

※上記紹介予約専用ダイヤルは土日祝を除く

診察までの  
待ち時間が減る

病院滞在時間が  
減ることで、  
感染リスクも低下する



◇患者さんから直接予約を取得出来る診療科（2021年9月末現在） ※最新の情報はホームページでご確認ください。

- 呼吸器病センター内科
- 泌尿器・腎移植科
- 皮膚科
- 乳腺・甲状腺外科
- 婦人科
- 形成外科
- 歯科・口腔外科・矯正歯科
- 炎症性腸疾患 (IBD) センター内科
- 精神医療センター（代表番号 045-261-5656 より外来窓口でご予約を承ります。）



横浜市立大学附属  
**市民総合医療センター**  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY MEDICAL CENTER

〒232-0024  
神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地  
電話：045-261-5656（代表）

初診 | 午前 8:30 ~ 午前 10:30

再診 | 【一般診療】午前 8:00 ~ 午前 11:30（一部診療科により異なります）

【予約診療】午前 8:00 ~ 午後 4:00（一部診療科により異なります）



▲病院ホームページ